

令和3年度 第1回市川市食育推進関係機関連絡会（詳細）

- 1 開催日時：令和3年7月15日（木）午後3時00分～4時30分
- 2 場 所：ZoomによるWeb会議（市川市保健センター4階大会議室）
- 3 出席者：代表

大野氏（市川市医師会）
河内氏（市川市歯科医師会）
花崎氏（市川市PTA連絡協議会）
山崎氏（市川市私立幼稚園協会）
松丸氏（市川市食生活改善推進協議会）
澤田氏（市川市漁業協同組合）
菅谷氏（千葉伝統郷土料理研究会）
中村氏（市川商工会議所）
相原氏（消費者モニター友の会）
浮谷氏（NPO法人日本食育ランドスケープ協会）
山本氏（千葉県市川健康福祉センター）
古畑氏（和洋女子大学）
染谷氏（生産者代表）

（事務局）保健部：増田部長

保健センター健康支援課：高橋課長、中川主幹、永田副主幹、
平林副主幹、村上副主幹、池田主査、手代木主任

（関係課）農業振興課：寺門主幹、川邊主査、宮下主事

地域整備課：森田副主幹、青柳主任主事、

保健体育課：荻原主幹、阪田副主幹、

こども施設運営課：佐藤副主幹

生活環境整備課：高橋主幹、中江副主幹

4 議題：議題1 市川市の食育の推進について

① 令和2年度 食育の推進報告

② 令和3年度 食育の推進計画

議題2 代表者及び関係機関等の取組紹介

議題3 第3次市川市食育推進計画について
第3次計画中間評価について

議題4 令和3年度 食育の取組について

議題5 その他

【午後 3 時 00 分開会】

健康支援課長： 皆様こんにちは。本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。新型コロナウイルス感染予防を考慮いたしまして、Zoom による Web 開催とさせていただきます。

これより、令和 3 年度第 1 回市川市食育推進関係機関連絡会を開催いたします。会議に関しましては、市川市審議会等の会議公開に関する指針により、公開が原則となっております。本日、傍聴の方はございません。それでは議題に入らせていただきます。

事務局： 議題 1 「市川市の食育の推進について」

①令和 2 年度食育の推進報告については、資料をご確認ください。

②令和 3 年度食育の推進計画について、

庁内の食育関係課の会議は 5 回予定しております。食育関係課では、連携及び情報交換をしながら様々な検討を行っております。今年度より、生活環境整備課が加わり、6 課で進めてまいります。市川市食育推進関係機関連絡会は、本日 7 月と 11 月の 2 回開催する予定でございます。

広報活動としては、6 月の食育月間啓発として懸垂幕、電子掲示板での周知の他、広報いちかわ 6 月第 1 週号に食育の特集記事を掲載いたしました。また、千葉県公式ホームページ「千葉を食べよう、千葉の食育月間」に、食生活改善推進員活動の取組が紹介されております。イベント等で市民と直接お会いすることが難しい状況ですので、市川市公式チャンネルでの食育動画や、市川の食育のホームページ等を活用して、食育の啓発を引き続き進めていきたいと思っております。食育講演会は、今年度は中止いたします。

次に、食育関係課の取組概要を各課よりご報告いたします。

健康支援課では、ライフステージに沿った食育の推進を目的に健康教育を行っております。乳幼児を対象とした離乳食教室は、感染対策を講じ定員を減らして実施しております。離乳食の進め方や、おかゆの作り方の動画を公式ホームページに掲載しております。妊婦を対象にしたパパママ栄養クラスは、今年度は中止しております。地域の団体へ出向いて行う栄養講座は例年より少ないですが、免疫、低栄養等のテーマでご依頼をいただいております。団体と相談しながら進めていきたいと思っております。食生活改善推進員事業としては、イベントや講習会の開催が難しいため、市民の皆様役に役立つおいしいレシピの作成などを行っております。

農業振興課の食育関連事業の取組といたしまして、今年度はまず体験農

園事業の中で市民農園と体験型のふれあい農園と2つありますが、市民農園は例年通り実施で、ふれあい農園につきましてはコロナ禍のため3密を避けることも含めまして、前年度同様令和3年度も中止となっております。それから、例年7月に行われる市内小学生が見学している選果場見学につきましても、やはりコロナ禍ということで、昨年度同様、中止となっております。また、減農薬栽培推進として梨の害虫であるナシヒメシンクイという梨の芯の部分を食害する害虫を防除するための非農薬防除資材のコンフューザーを設置する農家に対しまして資材代を補助し、減農薬栽培を今年も推進していく予定でございます。

あと、今年8月から9月にかけて、市川駅と行徳駅の方で梨フェアをJAと協力して梨の販売イベントを行う予定であります。また、資料にもあります12月に、例年ですと農水産まつりを実施する予定で、関係団体と調整を図っているところですが、コロナ禍の情勢によっては、こちらの方も中止になるかもしれません。

地域整備課から、市川市魚食文化フォーラム実行委員会の取組をご説明させていただきます。まず初めに、先月に6店舗の市内鮮魚店様にご協力いただきまして、市水産物であるスズキの販売を実施いたしました。また、年が明けましたら、生ノリの販売を例年実施しており、こちらも現在予定ではございますが、取り組めるよう検討してまいります。続きまして魚のさばき方教室となっておりますが、例年は年明け頃に実施しているところではございますが、今年度は感染症対策のため中止とさせていただいております。続きまして小学校のノリスギ体験となっておりますが、市内小学校を対象に抽選で当選した小学校で、1月下旬から3月頭までノリスギを実施しております。大体1学校3クラス程度を実施しておりまして、こちらも今年は予定という形で考えております。続きまして、1月に予定しております学校給食市水産物利用でございますが、こちらは教育委員会にご協力いただき、生ノリや乾ノリを小中学校に提供して地元水産物の理解等を図っております。最後に漁場見学会となっておりますが、こちらは例年、市川市漁協の澤田様にご協力いただき、市内在住の親子を対象に市川市の漁場を船で周りながら市水産業等を説明し、体験していただいている取組でございます。こちらも現時点では予定とさせていただいております。

こども施設運営課の取組としましては、例年、食育年間指導計画に基づく食育活動を実施しており、今年度は野菜の栽培や収穫体験、また行事食や季節感のある献立など、子供たちの食への関心を高める活動を行っております。昨年度から新型コロナウイルス感染症予防対策として、密接密集をするような活動は制限があるため、クッキングやバイキング給食などは

中止しているところです。また、給食時はパーテーションの活用やテーブルに着席する人数を制限したり、静かに食べるなどの対策をしてまん延防止に努めております。このような状況下ではありますが、今月7月7日は七夕会が各保育園で実施されておりまして、七夕にちなんだメニューを提供し、各保育園で野菜の型抜きをして盛り付けを工夫したり、ランチョンマットや飾り付けをして、食卓の雰囲気を出したりと楽しく食べる工夫をしております。

生活環境整備課では、主に食品ロスの削減の取組を予定しております。まず食品ロスの削減月間というのが10月にありますので、メディアパーク、中央図書館の2階でパネル展を行います。それからフードドライブと呼ばれる、各ご家庭で賞味期限がまだ残っていて食べる予定のないようなものをご寄付いただきまして、社会福祉協議会へ寄付するような取組をしております。期間と場所は未定でございますけれども、今年度実施する予定です。それから小学校の方で、食べきりチャレンジという、これは小学校に行ってお出前授業をするのですけれども、そこで廃棄物の削減ということで、食べきりチャレンジという啓発活動を行う予定でございます。

保健体育課では、各小中学校の食育全体計画に基づいた取組について説明いたします。1点目は市川市ヘルシースクールプランでの食育の取組です。これは各学校で保健、体育、給食を中心に、健康な体づくり、心づくりに取り組んでいるものです。その中でも特に食育としまして、テーマのある給食の献立、それから噛む大切さを伝えるカミカミ献立、給食委員会等児童生徒を中心とした活動も行っております。2点目は学校給食を中心とした取組です。こちらは6月の千葉県民の日、11月の千産千消月間に、地場産物の活用をしています。また、お話給食としまして、本の中に出てくる料理を献立に取り入れて食に興味を持ってもらおうという試みです。

例年試食会を実施しているとありますが、昨年度はコロナ感染拡大防止のために未実施となっております。3点目としまして、栄養教諭を中心とした食育推進の取組です。コロナ禍のためできる範囲で取り組んでもらっております。毎日の給食をホームページにあげたり、給食だより等で食育についてお知らせしたりなどできる範囲で取り組んでおります。

健康支援課長： ご報告させていただきましたが、ご質問等ございますでしょうか。それでは、議題2「代表者及び関係機関等の取組紹介」について皆様からお願いしたいと思います。ご発言は1人3分程度でお願いいたします。和洋女子大学の古畑先生からお願いいたします。

古畑代表：ありがとうございます。皆様お疲れ様でございます。

今日何をお話するかということを整理させていただいていますが、意見書というのを以前、事務局に送らせていただいておりますが、議題4の動画以外の取組等についてのご意見にいくつか私が提案させていただいたものがあります。まず1点目ですが、減塩の取組というのは非常に良いと思います。また千葉県の郷土料理を皆様に普及とありますが、いつも「祭り寿司」というキーワードしか出てきません。今、他課の皆様方がご紹介いただいている中で、郷土料理に見合うような「祭り寿司」も当然いいのですが、それ以外にも紹介できるものがないのだろうか、今後、何かアイデアがないのかということと、国は最近、今後のいろいろな疾病の取組で、減塩と女性のやせを非常に取り上げて、厚労省が最近報告書を出しているのですが、市川の現状から、これからの世代の中学校、高校の若い女性のことともふまえて、女性のやせの問題というのがどうなのだろうかということ。国は今度、4次の食育推進がスタートしているわけですが、そういった意味で今年度、市川市は次に向けた取組を同時並行で検討されるのだろうと思うのですが、早め早めに今日の委員の皆様方にもお伝えする機会というのも必要なのではないかなと思っております。

健康支援課長：ありがとうございます。続きまして、市川市医師会大野先生よろしくお願いたします。

大野代表：医師会の方では例年のような取組はできないのですが、いろいろ健診などを行っていくうえで、やはり今、古畑先生がおっしゃったようにやせているということが少し問題になりつつあります。ですから、乳幼児におきましても母親が適切な離乳食を与えたりミルクを与えたりとかが難しくなってきた、つまりノウハウを持たないということで、ちゃんと食べている子はいいいのですが、食べないとか飲まないということで体重に問題を抱えている子が増えている気がします。それから小学校の学校健診にうかがいましても肥満とやせが極端になっています。中太りの感じの子がいなくなって、細い子か、体が大きくて過体重、肥満の子がいる形になってきています。しかも体型が、きちんと運動して筋肉がついているというより、筋肉がないがために肩が異様になで肩になっている子が目立つので、食べる内容だけではなく、古畑先生がおっしゃったように大人だけではなくて子どもときから食べたものが一生のベースになるということを考えると、小、中学期における食育の大切さ、保護者に対する啓蒙が一つ必要だと思います。

それから、あともう1つ、いろいろ新聞等では言われていることですが、今非常に貧困ということが見えにくい状態になっています。学校の給食が

ないがために1日1食ぐらいで過ごした子がいて、緊急事態宣言があげたら、体調が悪い、やせている子もいたという話も、決して新聞の話だけでなく実際に聞いたことがあります。ですので、そのような困難児へ3食を確保すること、困難な家庭へ対する支援というのもこれから大きな問題になってくると思います。飽食でやせたいとか食べるものを選ぶというのは、ある程度贅沢な世界で出来ることと考えますので、今このようなコロナのような時代ですと困っているところに、いかにその食育の発想を持ち込むかということも行政に求められているのではないかと思います。

健康支援課長： ありがとうございます。河内先生お願いいたします。

河内代表： 歯科医師会の河内です。

食育に関して歯科医師会で携わるというと、すこやか口腔健診がございませう。ヘルシースクール事業の中の1本ですが、昨年度はコロナの影響で全て中止となりました。今年度は小学校5校、500人を教育委員会と実施の方向で進めております。それから新聞紙上で問題になっておりますが、先日新潟県において給食のパンを飲み込めずに窒息死するという事故が起きました。それを受けまして、歯科医師会では秋から冬にかけて市民に向けて摂食嚥下のお話をできればと思っております。もちろん教育委員会、養護教諭等に対しても啓蒙活動を進めていくわけですが、飲み込み時における事故は給食に限ったことではございませんので、市民の方々に広く公開して啓蒙活動をできればというのが歯科医師会の考えでございませう。

健康支援課長： ありがとうございます。花崎様お願いいたします。

花崎代表： 市川市PTA連絡協議会副会長をしております花崎です。よろしくお願いいたします。PTAということで、実際に学校に行き子供たちの様子を見る機会はとても多いです。現在、子供たちは学校の給食時に無言給食で食事をしている状態です。学校生活の中で、子供たちにとってはとても楽しいはずの給食の時間に、ずっと無言になっている事は少し気がかりな事でありませう。各PTAでは、その給食時間に保護者ボランティアによる読み聞かせを録音し流している学校があったりと、いろいろな工夫がされていませう。市内全ての学校にそういった活動がされているわけではありませう。また、食育に関しての行事ができにくい状態かとも思ひませうので、何か代替案があればと思ひませう。本来は動画を見ながら食事することは望ましくないかもしれませうが、食育につながる動画、例えば野菜の育つまでの過程であったりとか、千葉県内市川市内で育てているものなどのお話などを聞かせてあげたりというのが、給食中にあっても良いのかなと思ひませう。

います。

また、先ほどダイエットですとか貧困というお話もありましたが、これらの情報をただ大人から発信するばかりですと子供たちの耳に右から左に流れていってしまうことも多いと思います。ダイエットや食生活に関しては、子供たち自身が自ら気を付けようと自分たちで考えられるきっかけになるようなものがあつたらいいのかなと思ってます。例えば、〇×などで、あなたは今どのタイプ？という答えにたどりつくような自己分析を簡単にゲーム感覚で行えるものができたら良いと思います。無理なダイエットをしているよ、もっと健康的に食べようねというような、それぞれに必要なメッセージが届くようなリーフレットがあつたりするのもいいのではないかなと思います。

子供たちが健康に育ってほしいと思いますので、皆さんと協力し合いながら参加させていただきたいと思います。よろしくお願いします。

健康支援課長： ありがとうございます。澤田様お願いいたします。

澤田代表： 市川市漁業協同組合、澤田です。よろしくお願いします。

今回も東京湾の漁業について、お話をしてみたいと思います。他の地域も同じようですが、現在の海の環境は決して良くありません。ノリ、魚、貝類、ノリについてはクロダイがノリを食べるようになり対策が大変なため廃業に追い込まれる人も多数出ています。魚についてもコロナの影響により魚価が低迷しています。買取業者より、売れないから漁を休んでくれとの話も耳にします。貝類、ホンビノス貝は価格も安定していますが漁が減ってきています。もともと外来種のためか、ちょっとした環境の変化で減ってしまうかもしれません。前回も漁獲の管理についてお話ししましたが、管理以前に貝類の産卵、産卵後の定着が少なくなってきました。

下水道の浄化が進み海の水の栄養分がなくなり、貝類の餌の植物プランクトンが減少し貝類が過ごせないとも聞きます。近年の異常気象による波のため、極端な砂の移動も原因のひとつです。近隣の漁協ではあさりの生産に向け小砂利を海に入れてあさりの定着を促進する取組もしています。成果は出ていますが、これも試験的なもので生産にはつながっていません。あさりの生産回復を期待しています。市川市漁業としては前回もお話しましたが、ハマグリを養殖事業を進めています。実際にはハマグリを養殖事業を始めて15年ほどになりますが数年前より徐々に成果が見えてきました。現状では漁獲量を1船20kgに制限し漁を行っています。今年も市川市地域整備課、千葉県漁連、水産総合研究センターの支援もあり、ハマグリを稚貝放流を行いました。今後も江戸前ハマグリを復活と、安定した漁業生産に取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。

健康支援課長： ありがとうございます。相原様お願いいたします。

相原代表： 消費者モニター友の会の相原でございます。

私たちも同様ですが、例年ですと自分たちで気になることを勉強した後に市民の皆様にも講座という形でお伝えすることも多いですけれども、やはり去年に続いて今年もまだ控えておこうという状況になっております。今年、水道のことを勉強する機会がありましたので、状況が良くなればやってみたいなと思っております。今のところそういう状況になっております。

健康支援課長： ありがとうございます。山本様お願いいたします。

山本代表： よろしく申し上げます。山本です。

保健所も、例年通りの事業ができる状況にはないところですが、もう2年目になりまして、昨年中止していた様々な事業が動き出しております。給食施設の巡回におきましても、新規の保育園さん等を現在巡回しているところです。学校関係におきましては、今年度分が終了し市川市様にも大変お世話になりました。ご協力いただきありがとうございました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。その他に、今年度は国民健康栄養調査と申しまして令和2年度に実施する予定だった調査が延期となり、10月から12月にかけて調査を予定しております。しかしながら、今後のコロナの状況によっては、また実施が可能か分からないという疑問は抱いている状況ではあります。

話は変わりますが、保健所においてはやはり災害時の対策ということを非常に心配しております。このところ大雨が降ったりということが何回かございました。昨年度、管内の給食施設のうち入所施設があるところにアンケートを実施し、今後の災害時における設備の使用ですとか電気やガスなどの状況を施設の方自身等で確認していただいたり、3日分の災害備蓄等を考えていただくような機会を設けました。今後も災害については続けて考えていかなければならない課題だと感じているところです。

健康支援課長： ありがとうございます。山崎様お願いいたします。

山崎代表： 私立幼稚園協会、いなほ幼稚園の山崎と申します。

幼稚園協会としてはこのコロナ禍においては、なかなか思うような活動ができません。今後の活動も協会としても未定なことが多いです。子供たちも、小学校同様、食事時に静かに食事をしなくてはいけないということで、かなりストレスが溜まっているなど、子供たちの動きを見て感じています。園によってはパーテーションを置いたり、クラスによって大人食堂にしよ

うと静かにご飯を食べたり音楽をかけたりといった活動をしながら、少しでも子供たちが楽しくご飯を食べられるようにというような活動を各園考えながら行っております。

また食育調理活動についても、なかなか集団で集まって作るということは難しくなっていますので、夏野菜等、トマト、ナス、ピーマン等を栽培してスケッチに描いたり、ナスは塩もみにしてお弁当と一緒に食べたり、トマトもそのままなったものを食べてみたり、そういった活動をしながら食育ということを少しでもやっていこうと先生たちと考えながら行っております。またどの園にも紙芝居がありまして、食育の紙芝居がたくさん出ています。バランスの良い食事とか健康面のこととか、よく噛むこととかです。そういったものも、各園読みながら子供たちに食への理解というものを教えていっております。

今後もうしばらく我慢が子供たちは続くと思います。おうちでお母さんと一緒にお料理ができるような、そういったビデオ等があると子供たちも親しみやすいと思います。このコロナ禍でYouTubeなど動画のサービスを使っている子は幼稚園でも増えておりますので、そういったものがあると子供たちにいいかなと思いました。

健康支援課長： ありがとうございます。松丸様お願いいたします。

松丸代表： ご紹介いただきました、食生活改善推進協議会会長の松丸でございます。今年初めて参加させていただきました。よろしくお願いいたします。食生活改善推進協議会では、市民の皆様へ食生活の大切さを伝え、健康への意識を高めていただくよう普及活動事業を行っております。また現在市川市から食生活改善推進委員として61名委嘱されて11地区に分かれて食による健康づくり活動を行っております。また第3次食育推進計画においては、地域における食育の推進という役割も同時に担っております。

新型コロナウイルスの影響で、昨年度から地域で市民の皆様へ直接お会いする活動ができない日々が続いております。そのような状況の中でも、今年度の取組や活動状況ですが主な活動は3点ございます。おとなの食育講習会、放課後保育クラブの健康教育、新しいレシピの作成です。おとなの食育講習会では「食事でココロをリフレッシュ～家族みんなの健康ごはん～」をテーマに、保健センターと南行徳保健センターの2か所で講話と調理のデモンストレーションを行いました。

参加者の方からは、調理デモは初めてでしたが野菜の大きさなども分かりやすく参考になりました、コロナ疲れがある中でやはりバランスのよい食生活を心がけ体調を整えていく大切さを感じました、という感想もいただいております。今年度の主な活動の2つ目は、放課後保育クラブでの健康

教育です。市民を集めて活動することが難しいため、前期は夏休み期間を利用して市内の4校の保育クラブへ出向き「早ね、早おき、朝ごはん〜朝ごはん〜で元気な一日のスタートを」をテーマに、朝ごはんや生活リズムの大切さ、赤・黄・緑の栄養の働きを知り好き嫌いしないで食べることの啓発を予定しています。また、昨年度に引き続き自宅で取り組める活動として、新しいレシピ作成も行っていく予定です。先月6月の食育月間に、昨年度考案したヘルスマイトのおいしいレシピから「野菜の卵そぼろ」を市公式YouTubeにアップいたしました。ぜひ皆様も、ちょっとご覧くださいませ。今年度作成したレシピも、市民の皆様へ提供できるように進めてまいります。

今後も「新しい生活様式」に対応した形で、活動を進めてまいります。

健康支援課長： ありがとうございます。菅谷様お願いいたします。

菅谷代表： 千葉伝統郷土料理研究会、菅谷です。よろしくお願いします。

千葉県の郷土料理である太巻き祭り寿司の講習会等を中心に行っています。昨年度は、毎年行っていた太巻き祭り寿司デザインコンテスト、市民団体依頼の講座等、人が集まる講習会や食に関するイベント、が新型コロナウイルスのため中止になってしまいました。

千葉伝統郷土料理研究会の市川支部のメンバーは、学校の栄養士がメインとなっています。学校での食育の取り組みを少しお話させていただきます。小学校では、低学年の児童に市川や千葉の畑でとれた野菜を身近に感じてもらうため、給食のお手伝いとして枝豆もぎやそら豆のさやむき、トウモロコシの皮むきなどを体験し、それを給食で使用している学校もありました。コロナ禍になってしまい、体験が難しくなってやめてしまった学校、体験をさせてあげたいので体験はするけど、給食では使わず家へ持ち帰ってもらう学校など、学校での食育体験の場が狭くなっているのも現実です。学校で給食や食育を保護者の方へアピールする場である給食試食会は、今年度も難しい学校が多いようです。これからも保護者の方には、献立表や給食だよりでアピールをしていきたいと思っています。

普段の給食でも千葉県の郷土料理である、さんが焼きやつみれ汁、性学もちの入った汁物等を取り入れています。また、引き続き市川のノリや梨、野菜等、産物を給食で使用することで、子供たちにもアピールしていきたいと思っています。

小学校では、3年生が市川の勉強をしています。校外学習で梨畑や選果場に出かけることも多いのですが、昨年度は中止になってしまった学校もありました。今年度も見学は難しい学校がほとんどです。昨年の広報いちかわに市川のノリや梨について載っていたので、資料として担任の

先生へ提供させていただきました。絵や写真が入っていたので、先生方も喜んで授業の参考にしていました。ありがとうございます。

話は戻って千葉の郷土料理についてですが、千葉でとれるお米とノリを使用した太巻き祭り寿司や、千葉県で昔から豊富にとれるいわしやあじなどを使ったなめろう、さんが焼、つみれ汁など、千葉の郷土料理と言われています。市川の郷土料理は何かなと思い、調べたり先輩に聞いてみたりしました。郷土料理というものは見つからなかったのですが、行徳地域でぼたもちを、昔から食べられているような記述がありました。ぼたもちは俵状に丸めたのが一般的ですが、千葉県には重箱に、もち米、小豆あん、もち米、小豆あんと交互に重ねたぼたもちがあり、切り分けて食べられるようです。北総台地から鎌ヶ谷、市川大野、行徳にいたる地域で、お彼岸に限らず、農作業やいろいろな時に作られていたようです。重ね方もいろいろあり、お祝いの時には3層に、丁寧なところは5層にしたりするそうです。行徳のお葬式のときには2層にしたりと冠婚葬祭によって重ね方が違っていたようです。

最後に、人が集まる講習会や食に関するイベントは、今年度も行うのは難しい状態です。現在のような状態でも実施できるような、新たな活動方法を考えています。よろしくお願いします。

健康支援課長： ありがとうございます。中村様お願いいたします。

中村代表： 市川商工会議所の中村でございます。よろしくお願いいたします。

市川商工会議所には、地産地消事業の一つとして、地域ブランド協議会がございます。地域の将来に繋がる名品として、市川の梨やトマトを全国的にPRしており、地域ブランド協議会は「お土産にしたい地元名産部門」の部門賞を受賞したことがございます。2020年8月には市川の梨食べ歩きマップを作成し、36店舗48品のご協力を得ました。市川のトマト絶品メニューは2020年3月作成、26品の掲載でございます。今年度でございますが、コロナの影響を受けまして飲食店の営業自粛やパンフレットを置いていただく施設の閉鎖等により積極的な活動ができない状態になり、トマトのパンフレットの作成はいたしませんでした。しかし、農協様のご協力を得ながら規格外のトマトの注文を受け、8店舗33箱の注文がございました。市川の梨のマップにつきましては、利用期間が長いということから今年度も作成する予定であります。

コロナの状況を踏まえつつ、市川市民の方々が、市川市のお土産として梨やトマトの商品を活用し、もらった方に喜んでいただける商品PRを継続的に協力をしてまいります。

健康支援課長： ありがとうございます。浮谷様お願いいたします。

浮谷代表： 日本食育ランドスケープ協会の浮谷です。よろしくお願いします。
皆さんと同じように我々の活動も、今の状況の中でということで正直縮小しています。そのような中、去年の9月に声をかけていただいた市川市内の二俣小学校の方から、もう一度食育の授業の一環でということで講話のお話をいただきまして、5月の下旬に実施してきました。対象の方は4年生と特別支援学級の子供たちということでした。今回の依頼内容については、子供たちが今、実際に野菜について勉強しているということで、そういった状況の中でさらに知識を伝えてもらいながらもっと野菜に興味を持たせて欲しいということでした。そこでテーマは目指せ野菜マスターということで、私どもの方で講話をしてまいりました。旬についてですとか、給食の大切さ、そういったことを伝えたり、野菜についてのクイズも出したりということで、子供たちへの手助けが少しでもできればなという思いで対応しました。休憩を挟みながら約2時間という講話でしたが、子供たちは本当に真剣に聞いてくれて、我々としても感謝をしながら、またうれしくもなりました。後日、子供たちからありがとうございましたのメッセージ、感想文をいただいて、非常にうれしく思いました。

今後の活動ということでは、毎年継続している船橋の児童ホームでクッキングを交えた小学生を対象とした食育事業があるのですが、正直まだここは現状、実施されるかどうか不透明な状況です。実際、去年は中止になってしまったということがありました。繰り返しになりますが、こうした状況ですので、かなり制約された中での活動となることは覚悟していますが、できる限りの範囲で引き続き我々としての活動を続けてまいりたいと思います。

健康支援課長： ありがとうございます。染谷様お願いいたします。

染谷代表： 生産者の染谷です。よろしくお願いします。
私たちの体は、今まで食べてきたもので出来ているわけです。ということで前回、前々回申し上げたように、電話をスマホにしてから自分で食べた食事の写真を撮ってきました。それが、最近は食べたものの写真を分析して、何を食べたか、カレーライスとかラーメンとか、これビールだねとか。写真を撮ればそういうことを分析してくれるようになりました。それで分析して、何を食べたかというの分かると大体の栄養価が出るんですね。そうすると、今日の食事の中で何が足りなかったとか多すぎたとか、大体ですけど分かるようになって、それを自分で見て、タンパク質がちょっと足りないとか、牛乳を飲まないとかカルシウムがやっぱり摂れないとかやっ

てたら、課金をすれば栄養士さんがその写真を見て食べたものを見てアドバイスをしてくれるっていうことで頼んでみたら的確なアドバイスをくださって、年をとってもタンパク質はしっかり摂らないといけないということで、私も随分タンパク質を意識して摂るようになりました。そのように、専門の人に一人一人に合わせたアドバイスをいただけるということは、自分の意識も変わって、また料理の工夫の仕方も一言を添えてもらったりできるようになって、とてもいい時代になったなあと思うわけです。こういうことを、一人一人がうまく使って、食育に関心を持って健康維持に役立てていけたらいいなと思ったところです。

健康支援課長： 皆様、ありがとうございました。

ただいま会場の皆様からご発言をいただきましたが、何かご質問等ございましたらお声を発していただけたらと思います。いかがでしょうか。

次に、議題3について事務局よりご説明を申し上げます。

事務局： 資料、第3次市川市食育推進計画概要版をご覧ください。

本計画の実施期間は平成30年度から令和4年度となり、来年度が最終年となります。市川市の食育推進は、この第3次食育推進計画に基づいて推進しております。1ページにあります3つの施策の柱、「1. 健康な体と豊かな心をつくる食育の推進」、「2. 食の流通と食文化継承を通じた食育の推進」、「3. 連携・協力体制を強化した食育の推進」を実施しております。2ページにあります通り、特に若い世代や働く世代の食育推進を課題とし、庁内で6つの関係課及び本日ご出席いただいております関係団体の皆様と連携して進めております。3～4ページにあります通り、食育の推進は各年代、ライフステージに沿ってということで実施しています。また、6ページに数値目標を掲げており、昨年度中間評価を行いました。

中間評価については、昨年度11月の会議にてe-モニターアンケートの集計結果についてご報告させていただきました。その後、食育関係課及び関連課が実施している事業の進捗状況や、計画の柱ごとに課題と今後の方向性、取組案についてまとめました。数値目標に対する達成状況をみると「主食・主菜・副菜をそろえた食事を1日2回以上ほとんど毎日食べている」、「1日2食以上野菜料理を食べている」といった指標の達成度が低いことが分かります。「令和元年国民健康・栄養調査」の結果をみても、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をする人の割合は、特に若い世代では低く、後半2年間の取組視点として掲げていきたいと考えております。「塩分のとりすぎに気をつけている」市民は増加しており意識の改善はみられますが、引き続き

実践につながるよう啓発を行っていきます。また、食育に関心があると回答した人は、関心がないと回答した人に比べて、「バランスの良い食事の摂取」、「生活習慣病予防や健康づくりのための適正体重の維持」等、健全な食生活の実践度が高い傾向がみられました。関心のない市民にアプローチをしたいのですが、イベントの中止など、若い世代、働く世代と直接会う機会が減っておりますので、デジタルツールなど様々な情報媒体を活用した活動を進めていきたいと考えております。

長い間、先の見えないコロナ禍となり、私たちの暮らしも大きく変わり、食育の推進も新たな方策が求められています。国におきましては、昨年度末、第4次食育基本計画が策定され、重点事項が、「1. 生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進」「2. 持続可能な食を支える食育の推進」「3. 新たな日常やデジタル化に対応した食育の推進」となっております。令和5年度の第4次市川市食育推進計画の策定におきましても、国の計画を踏まえて市川市の食育の課題を明確にし準備を進めてまいります。本連絡会におきまして代表者の方からのご意見をうかがい進めてまいりますので、今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。議題3については以上になります。

健康支援課長： 皆様、何かご質問等ございますか。

続きまして議題4食育の取組につきまして、事務局よりご説明させていただきます。

事務局： 令和3年度食育の取組について説明いたします。今回の取組の提案につきましては、事前に代表者の皆様から意見書いただきました。短い期間にもかかわらずご返答いただきありがとうございます。動画を活用した食育情報の発信については、皆様方から良いことだと思う、効果的、学校教材としても使いやすいとのご意見をいただきましたので、作成の方向で提案させていただきます。

そして3つの提案についてもご意見をいただきました。こちらは抜粋して皆様の意見をまとめさせていただきました。後程ご覧いただければと思います。その他、内容や啓発方法のご意見については、作成にあたり考慮させていただきます。また、動画以外についての取組について、ご質問やご意見をいただきました。こちらについてはご質問いただいた方へ回答させていただくとともに今後情報を共有させていただきます。

今年度の動画作成についてですが、これから旬を迎える市川の代表産物であります梨を取り上げ、若い世代に市川の梨について知っていただき親子で簡単調理するなど、おうち時間を楽しんでいただくような内容を選定いたしました。

具体的な内容としては、ご意見をいただきました3つのテーマの中から今回は、「地産地消の推進」を選ばせていただきました。市川の代表的な産物である梨について親子で楽しむ体験型動画を考えております。資料の内容を見ていただきたいと思います。が、「知ってみよう、行ってみよう～いちかわの梨畑～作って食べて、おいしくアレンジ！～いちかわの梨～」というように、親子で一緒に生産現場の大町梨街道で栽培されている梨の様子を体験していただきたいと思います。市川でなぜ栽培が盛んなのか、栽培されている梨の種類や特徴などについて生産者の方からお話を聞いていきます。場所を変えまして、市川市の本庁舎7階にございますキッチンで梨を使った親子で楽しめる簡単なレシピの調理体験をしていただく企画を考えております。なお、市川市農業協同組合の代表長須様が本日ご欠席のため会議に先立ちましてご意見を伺いましたところ、ご賛同いただきました。ご協力くださる梨農家さんをご紹介いただけるとのお話もいただいております。まず、今年度第1弾の内容といたしましてこのような動画の作成にご賛同いただけるかどうか皆様からご意見をいただきたいと思います。何かご意見ございますでしょうか。

ご賛同いただけることでよろしいでしょうか。それでは進めさせていただきます。今回この企画を進めるにあたりまして、食育関係団体の皆様にご協力と、親子で楽しめる簡単な梨を使ったレシピご提案のご協力をいただきたいと思います。まずは1つ目、幼児から小学校低学年くらいの親子にご協力を依頼したいと思います。お願いできるような団体はございますでしょうか。

山崎代表：(挙手)

事務局：ありがとうございます。私立幼稚園協会代表山崎様からご協力いただけるというお声がありましたので、是非、お願いしたいと思います。

花崎代表：(挙手)

事務局：PTA連絡協議会代表花崎様からもご協力いただけるとのことですので、お願いしたいと思います。2つの団体様からお声をいただきました。後日、詳しく内容について進めさせていただきます。よろしく願いいたします。次にレシピですが、梨を素材として親子で楽しく作れるようなレシピを、ご提供、ご提案いただけるような団体がございましたらお願いいたします。

浮谷代表：(挙手)

事務局：NPO法人日本食育ランドスケープ協会の浮谷様から、ご協力いただけるとお声がありましたのでお願いしたいと思います。他にいかがでしょうか。

松丸代表：(挙手)

事務局：ありがとうございます。市川市食生活改善推進協議会の松丸様からも協議会のほうに諮らせていただき確認してみるというお声をいただきました。それでは、親子のご協力は市川市私立幼稚園協会とPTA連絡協議会、レシピについてはNPO法人日本食育ランドスケープ協会と食生活改善推進員協議会にご協力いただけることになりました。今後は、打ち合わせをさせていただき進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

動画作成後はまず、市川市公式チャンネルYouTubeでの配信を考えております。より広く市民の方にご周知いただけるように各団体の皆様には改めてご報告させていただきます。ご協力ありがとうございました。

健康支援課長：議題5その他について、事務局からご説明申し上げます。

事務局：食育探検は、先ほど中間評価の話の中にもありましたように、食育関係機関と関係課の連携した食育の取組の一つとして、媒体として作成しました。こちらは、コマを食育に関するクイズ形式で作し、楽しみながら食育に関心を持っていただけるような内容となっております。是非、各団体でもご活用していただければと思いますので、必要部数等を、事務局のほうにお声かけください。よろしくお願いいたします。

次回の連絡会は、令和3年11月25日を予定しております。なお、新型コロナの状況等により変更等もございますことを、ご了承お願いいたします。

健康支援課長：皆様ありがとうございました。以上を持ちまして本日の議題すべて終了となります。ありがとうございました。

【午後4時30分閉会】

以上